

# 平成22年度 歯科技工士実習施設指導者等養成講習会 実施団体公募要領

## 1 総則

高齢者の増加に伴い、歯科補綴物の多様化・高度化が進んできている昨今、歯科技工士の資質の向上を図ることは大きな課題となっています。特に歯科補綴物の多様化等への対応には、歯科技工士養成施設で実施されている技工実習が非常に重要な役割を担っていることから、その実習内容の充実を図ることが急務となっています。

このため、厚生労働省では、歯科技工士実習施設指導者等養成講習会（以下「講習会」という。）を実施するに当たり、講習会を実施する団体（以下「実施団体」という。）を選定するため、以下の要領で実施団体を公募するものです。

## 2 目的

歯科技工士養成施設で実施されている技工実習の内容の充実、強いては歯科技工士の資質の向上を図るため、歯科技工士養成施設の指導者に対する講習会を実施するものです。

## 3 講習会について

- (1) 開催回数：年2回（東京都1回、大阪府1回）
- (2) 開催期間：1回当たり4日間（28時間）
- (3) 受講者数：1回当たり30人
- (4) 受講資格：歯科技工士養成施設の実習指導者の任にある者又は歯科技工士で免許取得後5年以上の実務経験を有する者で歯科技工士養成施設の実習指導者となる予定にある者
- (5) 講師：講習科目を教授できる歯科技工士養成施設等専任教員・歯科大学の教授又はこれらに準ずる者
- (6) 事業内容：
  - ①インプラントやCAD-CAM等、多様化・高度化する歯科補綴物に関する実技実習
  - ②インプラントやCAD-CAM等、多様化・高度化する歯科補綴物に関する講義。  
※4日間（計28時間）のうち、3日間（約21時間）は実習を行うこと。
  - ③その他必要と考えられる事項に関する講義・実技実習。
- (7) その他：
  - ① 講習期間中、専門に利用できる教室、演習室（実習のため）が確保できること。
  - ② 教室、演習室は、採光、換気等が適当であり、学習環境に配慮がされていること。

## 4 講習会に係る補助金の交付について

本講習会に係る補助金の交付については、講習会の実施に必要な経費（賃金、謝金、旅費、印刷製本費、通信運搬費、消耗品費、使用料及び賃借料）に限ります。

（補助率）定額

（基準額）889千円（上限額）

## 5 応募団体に関する諸条件

実施団体への応募者（以下「応募団体」という。）は、次の条件を全て満たす団体であること。

- (1) 講習会の実施に係る会計処理等の事務処理を適切に行う能力を有すること
- (2) 講習会を実施する上で必要な経営基盤を有し、資金等の管理能力を有すること
- (3) 日本に拠点を有していること
- (4) 厚生労働省から補助金交付等の停止、又は指名競争入札において指名停止を受けている期間でないこと
- (5) 予算決算及び会計令第70条及び第71条の規定に該当しない者であること

## 6 応募方法等

### (1) 企画書の作成・提出

「歯科技工士実習施設指導者等養成講習会企画書」を作成し、必要部数を提出期間内に提出してください。

企画書は、様式任意ですが、以下の項目について具体的に記載してください。

- ①講習会の実施に係る会計処理等の事務処理の実施体制について
- ②講習会の実施時期について（22年12月31日までに終了するものとする）
- ③講習期間中の教室、演習室の確保
- ④講習会費に係る積算について（別紙様式による）
- ⑤講師の確保（予定）
- ⑥講習会の周知方法について

### (2) 応募方法

提出期限及び提出先（問い合わせ先）は以下のとおりです。

#### 1 提出期間

平成22年7月20日（火）から8月3日（水）（必着）

#### 2 提出先及び問い合わせ先

（提出先）

〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2

厚生労働省医政局歯科保健課総務係 あて

※ 封筒の宛名面に「歯科技工士実習施設指導者等養成講習会企画書在中」と朱書きにより明記してください。

※ 応募書類は、原則として郵送又は宅配便により提出してください。郵送の場合、簡易書留等、配達証明可能な方法をとってください。

（問い合わせ先）

厚生労働省医政局歯科保健課総務係 坪内、鈴木

電話 03-5253-1111（内線2583）

FAX 03-3595-8687

※ 問い合わせは、平日（月曜日～金曜日）午前9時30分～午後5時30分（正午から午後1時迄を除く。）とします。

#### 3 提出書類及び部数

- |                              |    |
|------------------------------|----|
| ア 歯科技工士実習施設指導者等養成講習会企画書      | 5部 |
| イ 団体経歴（概要）、定款等、応募団体の活動が分かる資料 | 5部 |

## 7 実施団体の採択について

(1) 厚生労働省医政局歯科保健課において、応募団体が、応募条件に該当する旨を確認の上、提出された企画書等の評価（非公開）を行い、その結果について医政局内で了解を得た後、実施団体として採択します。

なお、評価に関する経過、内容等に係る問い合わせには応じられません。また提出された企画書等の資料は返却しませんので、その旨、ご了承ください。

(2) 評価は以下の手順により実施します。

### ①書類評価

提出された企画書について医政局歯科保健課において応募条件への適合性、及びその書類の内容について評価します。

### ②ヒアリング

必要に応じて、申請者（代理も可）に対してヒアリングを実施する場合があります。なお、ヒアリングに出席しない場合は辞退したものと見なします。

③書類評価（及びヒアリング）を踏まえ、実施団体を選定します。

(別紙様式)

区 分	支 出 予 定 額			備 考
	員 数	単 価 円	金 額 円	
歯科技工士実習施設指導者等養成 講習会費				
賃金				
謝金 講師謝金				
旅費 講師等旅費				
職員旅費				
印刷製本費				
通信運搬費				
消耗品費				
使用料及び賃借料				
合 計				